

とがしし 平安から500年「富樫氏」 加賀の礎を築いた

©姫川恵梨

未熟ながらも拍子をとりに
唄いまするは富樫の略史

-野々市じょんから節より-

野々市じょんから節にも登場する、千年もの昔に栄えた一族「富樫氏」。野々市を中心に加賀で活躍したその足跡をたどってみましょう。
ナビゲーターは――



おれは、あの名門一族「富樫氏」の「富樫家通」だ。



家通さん、「富樫氏」って何？

かがのくに
加賀国、つまり今の石川県南部をまとめ上げていた武士の一族、それが「富樫氏」なんだ。



加賀って、前田家の？

それは戦国から江戸時代の話だな。
富樫氏はさらに前の時代、平安から室町時代までの500年、ここ富樫郷を拠点として活躍したんだ。
富樫氏が治めていた時代、加賀の中心は野々市だったんだ。



富樫郷って町は聞いたことないよ。

昔は野々市を富樫郷と呼んでいたんだ。そこにおれのじいちゃんの家国が館や神社を建てて、地名をとって富樫と名乗ったんだ。
そういえばじいちゃん銅像が野々市市にあるらしいが、どこだろうな…。

わしも会場のフォルテで待っておるぞー。



富樫家通

富樫家通
等身大パネル
椿まつりに登場！

富樫家通・稲荷の白きつね物語

1085年のこと、白河天皇の命を受けた家通は、新しい宮殿を造るため家来たちと一緒京都へ向かっていました。

その途中、夫婦に呼び止められ、「宮殿の建設で私たちの子どもが石の下に閉じ込められてしまいました。どうかお救いください」と助けを求められました。

家通が急いで京都へ向かい、その怪力で石をどけると、そこで助けを待っていたのは、なんと三匹の子ぎつねでした。

その夜、家通の夢の中に神様が現れて言いました。
「私は稲荷明神。よく子ぎつねたちを助けてくれた。お礼として、そなたに末永く幸運をもたらそう」

お告げを聞いた家通は、野々市に帰ると、さっそく神社を建てて、きつねが好きだという小豆飯を供えました。すると、富樫氏と野々市はますます繁栄したのでした。

この民話が今でも稲荷地区で語られているんだ。そして、小豆飯は、今でもお祝いや祭りの時に食べる「赤まま(赤飯)」の基になったといわれているのさ。



富樫氏の略史 栄枯盛衰、駆け抜けた五百年

- 915年 藤原利仁 富樫氏の祖先、将軍を務めるなど活躍。
- 1063年 富樫家国 野々市に館と布市神社を建てる。
- 1104年 富樫家通 野々市に稲荷神社を建てる。
- 1183年 富樫家経 源平合戦で源氏に加わり、倶利伽羅峠にて平家を破る。
- 1187年 逃亡中の源義経と弁慶が富樫氏の館に立ち寄り(後の歌舞伎「勧進帳」のモデル)。
- 1333年 富樫高家 後に将軍となる足利尊氏に従い鎌倉幕府と戦う。その後手柄を認められて「加賀守護」に任命される。
- 1335年以降 野々市に守護所(富樫館)を構える。
- 1488年 富樫政親 高尾城にて一向一揆と対決するも敗れる。

最後は一向一揆に敗れたが、富樫氏が野々市を拠点としたことで、この地域が加賀の政治・経済の中心となっていたんだ。人生は勝ち負けだけじゃない、ということだな。



※富樫氏の歴史に関する解釈については、諸説あります。

野々市の勇士・富樫家通を身近に感じてもらうための「富樫プロジェクト」。このプロジェクトに協賛いただいた皆さまを紹介いたします。(受け付け順・敬称略)

- 株式会社堀建設
- みなみ設備工業株式会社
- 株式会社ホクハツ
- 北陸折開発株式会社
- 株式会社河合組
- 株式会社ワイズ
- 株式会社M.A.C.建築研究所
- 株式会社トスマク・アイ
- 野々市農業協同組合
- 柴電気工事株式会社
- 南ヶ丘病院
- 株式会社大晃重設
- 野々市市管工事協同組合
- アムズ株式会社
- 株式会社大日製作所
- 中村酒造株式会社
- 株式会社絹川商事
- 株式会社みやもり
- 株式会社中央設計技術研究所
- 学校法人金沢工業大学
- 株式会社クマ
- 成瀬電気工事株式会社
- アルスコンサルタンツ株式会社
- 野々市ライオンズクラブ
- 真柄建設株式会社
- 高桑美術印刷株式会社
- 訪問介護事業所へいわーど
- 北日本観光自動車株式会社
- 野々市ロータリークラブ
- 椿経友会

次のページは
赤ままキャンペーン





オリジナルグッズや豪華賞品が当たる！

とがしいえみち

富樫家通

3月1日開始!!

赤ままキャンペーン

和菓子屋さん、米屋さんのおいしい赤まま（赤飯）を食べて、オリジナルステッカーをもらおう。

さらに、うれしい景品が当たるくじ引き券も！

／さらに／

1商品を購入するごとに

“貼ってはがせる”
富樫家通ステッカー

をプレゼント！（先着順）

+

3月22日(日)13:00まで

豪華景品が当たる
くじ引き券

がもらえる！

▶くじ引き会場

3月21日(土)・22日(日) 9:00~15:00

ののいち椿まつり物販コーナー

(文化会館フォルテロビー)

1等 お米5kg・お赤飯の素
+富樫家通アクリルスタンド

2等 お米2kg・お赤飯の素
+富樫家通クリアファイル

3等 富樫家通アクリルスタンド

4等 富樫家通クリアファイル

5等 オリジナルマグネット(富樫家通/白ぎつね※ランダム)

ラストワン賞 白ぎつねアクリルスタンド

くじ引き券は2種類！

白ぎつねの券(1回抽選)

家通の券(2回抽選)



▶キャンペーン対象店舗

□白ぎつねの券、■家通の券 がもらえる

店舗名	価格(税込み)	販売方法	住所/電話番号	営業時間
お米のセレクトショップ 米屋	□756円/パック	土曜日不定期販売 販売はinstagramで告知 (@komeya188)	稲荷1丁目88 076-246-6000	9:00-18:30 ◎祝日
いそや菓子舗	■折り詰め 1,550円~	前日の午前中までに予約	本町2丁目15-6 076-248-0154	7:30-19:00 ◎日曜日
御菓子司加幸庵	■折り詰め 1,500円~	前日までに予約	中林1丁目165-1 076-294-1112	9:00-17:00 ◎木曜日
株式会社林農産	□400円/パック	椿まつり会場(文化会館フォルテ)で販売		

【事業者の皆さんへ】市のキャラクターをご活用ください

富樫家通や稲荷の白ぎつねのキャラクターデザインは、お店の商品や看板に無償で使うことができます。希望する人はぜひ問い合わせてください。

☎ 地域振興課 ☎227-6160

©姫川恵梨

